

## 参 考 資 料

## ○アライグマの生態・特徴

種名分類：アライグマ (*Procyon lotor*)、カニクイアライグマ (*Procyon cancrivorus*)

食肉目アライグマ科

原産地：アライグマ／北アメリカ、カニクイアライグマ／中南アメリカ

生息環境：森林、湿地帯から都市部まで幅広い環境にすむことができる。

体重：4～10kg

食性：雑食性で、小型のほ乳類、野鳥とその卵、魚類、両生類、は虫類、昆虫類、果実、野菜、穀類などを食べる。

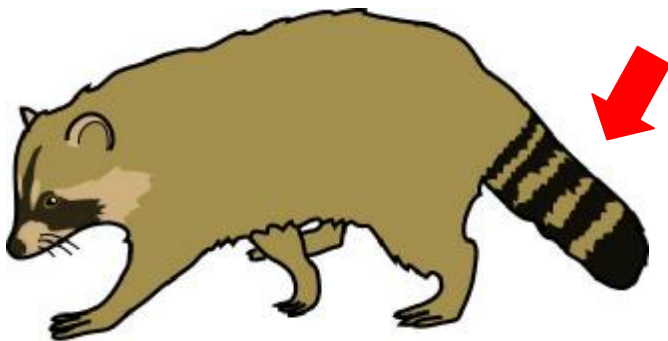
活動時間：夜行性だが、昼間に目撃されることもある。

寿命：野生では5年程度、飼育下では13～16年。

繁殖：年1回。春に3～6頭の子を産む。(春の繁殖に失敗すると秋に再繁殖することがある)  
繁殖場所は木の洞、人家の屋根裏など。

毛色：茶色から灰色まで個体差がある。

性質：幼獣のうちは人に慣れるが、成獣になると気が荒くなる。学習能力が高く、手先が器用で、力が強い。



アライグマの特徴  
尾に縞模様、目の周りに黒い  
マスク模様がある

アライグマの足跡 (実物大)  
指が長く、5本指の跡がつく



○アライグマによる被害金額の推移（資-表1）

アライグマ被害金額(千円)

管轄	市町村	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	
北部	能勢町	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	豊能町	農業被害											750		3,401
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	750	-	3,401	
	池田市	農業被害									215	1,532	240	690	668
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	215	1,532	240	690	668	
	箕面市	農業被害												11	718
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	718
	豊中市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吹田市	農業被害											10		
林業被害															
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	
摂津市	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨木市	農業被害						20	60	100	120	80			800	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	20	60	100	120	80	-	-	800	
高槻市	農業被害											250	529	903	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	529	903		
島本町	農業被害											600			
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	600	-	-	-	
中部	枚方市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	交野市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	四條畷市	農業被害													10
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	大東市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寝屋川市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	門真市	農業被害													
林業被害															
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
守口市	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東大阪市	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
八尾市	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
柏原市	農業被害						470	500	800	800	800	728	953	953	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	470	500	800	800	800	728	953	953	
南河内	松原市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	藤井寺市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	羽曳野市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪狭山市	農業被害											100		
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-
	富田林市	農業被害									15	21			1,330
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	15	21	-	-	1,330	-
	河内長野市	農業被害											1,920	2,400	
林業被害															
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,920	2,400	-	-	
太子町	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
河南町	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千早赤阪村	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
泉州	堺市	農業被害								10	145	3,000	1,434	3,022	
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	10	145	3,000	1,434	3,022	
	高石市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和泉市	農業被害						3,000	400	800	800	900	550	550	550
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	3,000	400	800	800	900	550	550	550
	泉大津市	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	忠岡町	農業被害													
		林業被害													
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岸和田市	農業被害						300	600	1,000	1,000	1,200	2,000	2,000	2,200
林業被害															
小計	-	-	-	-	-	-	300	600	1,000	1,000	1,200	2,000	2,000	2,200	
貝塚市	農業被害						300	600	600	1,000	180	300	600		
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	300	600	600	1,000	180	300	600		
熊取町	農業被害						4,000	4,000	4,000	4,800	800	1,000	1,500	1,500	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	4,000	4,000	4,000	4,800	800	1,000	1,500	1,500	
泉佐野市	農業被害							100	100	200	3,000	300	79	135	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	100	100	200	3,000	300	79	135	
田尻町	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
泉南市	農業被害									102	119	100	119	58	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	102	119	100	119	58	
阪南市	農業被害									500	40	36	300	691	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500	40	36	300	691	
岬町	農業被害						100	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,844	
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	100	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,844	
野生動物グループ	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪市	農業被害							7,890	7,080	9,020	9,822	10,753	11,228	11,896	21,092
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	7,890	7,080	9,020	9,822	10,753	11,228	11,896	21,092
合計	農業被害														
	林業被害														
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



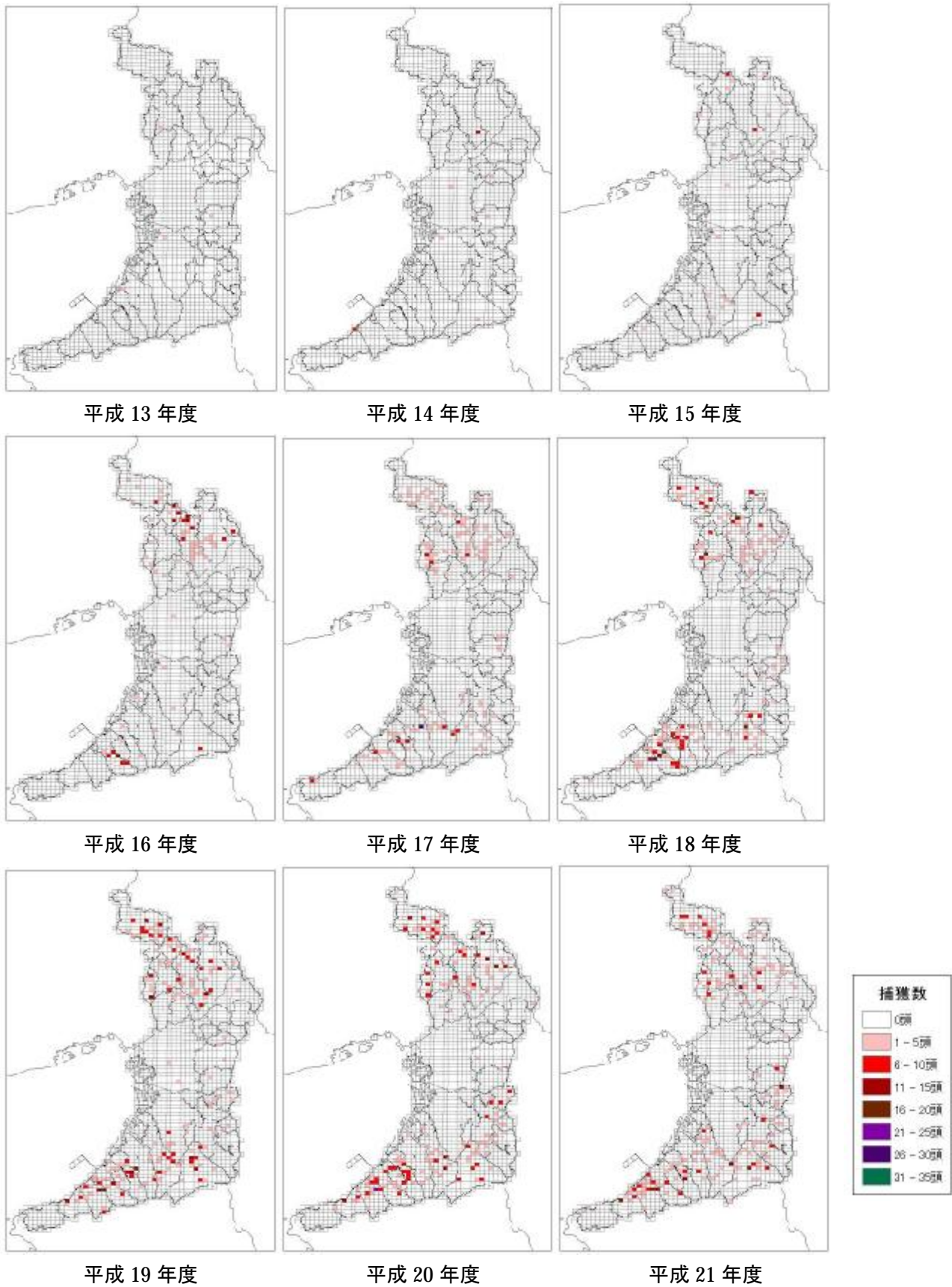
○アライグマ捕獲実績の経年変化（資-表3） ※平成22年3月末現在

### アライグマ捕獲実績の経年変化

2010.3月末

管轄	市町村	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
北部	能勢町				21	30	81	90	106	86
	豊能町			14	37	9	12	21	8	21
	池田市			1	6	29	34	32	28	27
	箕面市					13	21	21	17	31
	豊中市				3	3	3	1		3
	吹田市				1	1		2	2	2
	摂津市						1			1
	茨木市		4	7	73	62	78	63	43	50
	高槻市				16	46	39	44	69	58
	島本町				6	1	5	2	6	
	小計	0	4	22	163	194	274	276	279	279
中部	枚方市								2	4
	交野市					1				
	四條畷市							1	1	
	大東市							1		1
	寝屋川市						1			
	門真市									
	守口市									
	東大阪市					2		2	1	2
	八尾市				2	4	3	2	4	10
	柏原市					1	95	96	25	28
	小計	0	0	0	2	8	99	102	33	45
南河内	松原市									
	藤井寺市						1	3	6	2
	羽曳野市						1	2	10	1
	大阪狭山市					1	2	1	3	3
	富田林市					6	11	5	15	13
	河内長野市		4	9	8	27	61	57	43	71
	太子町						1	1	6	4
	河南町						5	2	6	1
	千早赤阪村					1			3	11
	小計	0	4	9	8	35	82	71	92	106
泉州	堺市				1	5	5	15	2	11
	高石市									
	和泉市			10	4	25	23	43	65	61
	泉大津市									
	忠岡町									
	岸和田市					43	35	23	13	26
	貝塚市				2	14	51	48	51	34
	熊取町				4	8	6	6	12	2
	泉佐野市				45	25	115	48	49	25
	田尻町						1	2	1	6
	泉南市					7	47	57	78	92
	阪南市						8	19	24	37
岬町					11	46	49	14	38	
	小計	0	0	10	56	138	337	310	309	332
野生動物G	大阪市						1	2	8	3
	警察等	3	6	13	6	2	15	1	2	
	小計	3	6	13	6	2	16	3	10	3
狩猟によるもの		0	1	0	3	16	4	8	1	5
計		3	15	54	238	393	812	770	724	770

○平成 13 年～21 年度 捕獲位置図 (資-図 1)



○捕獲個体の妊娠率及び平均産仔数の推定（資-表4）

平成16年度 大阪府アライグマ捕獲個体調査

	捕獲月	市町村	年齢	妊娠状態		体重 (kg)	
				(目視)	胎盤痕		
1	H17	1月	茨木市		無	0	5.2
2	H17	2月	茨木市	1才以上	無	3(+1吸収痕)	6.0
3	H17	2月	茨木市		無	0	4.1
4	H17	2月	茨木市		無	0	5.9
5	H17	2月	茨木市	1才以上	無	不明(発情初期)	5.7
6	H17	3月	茨木市	2才以上	2子	2	6.0
7	H17	3月	茨木市		無	0	4.2
8	H17	3月	茨木市		無	不明(発情初期)	4.0
9	H17	3月	茨木市		4子	5	4.9
10	H17	3月	茨木市		無	不明(発情初期)	4.0
11	H17	3月	茨木市	1才以上	4子	4(+1吸収痕)	6.7

※発情初期  
発情に伴い、子宮粘膜の肥厚が進み胎盤痕が消失している  
(昨年の妊娠は判断できない)  
(今年は妊娠する可能性が高かった)

※(+1吸収痕)  
成長せず出産されなかったもの

平成17年度 大阪府アライグマ捕獲個体調査

	捕獲月	市町村	年齢	妊娠状態		体重 (kg)	
				(目視)	胎盤痕		
1	H17	4月	茨木市		無	不明(発情初期)	6.8
2	H17	4月	茨木市	1才以上	1子	3流産	5.9
3	H17	4月	茨木市		4子	4	4.3
4	H17	5月	茨木市		無	4	6.4
5	H17	5月	高槻市		無	0	4.8
6	H17	5月	高槻市		無	5	5.5
7	H17	5月	茨木市		無	6	7.2
8	H17	5月	茨木市		無	5	6.0
9	H17	6月	茨木市		4子	4	5.5
10	H17	6月	茨木市		無	5	5.5
11	H17	5月	茨木市		無	3	6.0
12	H17	6月	茨木市		5子	4	5.8
13	H17	6月	茨木市		2子	1	5.5

妊娠率

【H17記録で試算】  
妊娠率 = 妊娠個体数 ÷ 調査個体数 × 100  
= 12 ÷ 13 × 100  
= 92%  
平均産仔数 = 産仔数合計 ÷ 妊娠個体数  
= 41 ÷ 12  
= 3.4頭

平成18年度 大阪府アライグマ捕獲個体調査

	捕獲月	市町村	年齢	妊娠状態		体重 (kg)	
				(目視)	胎盤痕		
1	H18	4月	泉佐野市	1	—	1	6.4
2	H18	5月	茨木市	1	無	1	4.5
3	H18	5月	豊能町	6	—	2	7.0
4	H18	5月	茨木市	1	無	3	5.0
5	H18	5月	能勢町	1	—	4	6.5
6	H18	5月	茨木市	1	—	3	4.5
7	H18	6月	河内長野市	1	—	4	5.0
8	H18	6月	河内長野市	1	—	4	5.8
9	H18	6月	茨木市	1	—	5	8.0
10	H18	6月	富田林市	4	—	5	6.8
11	H18	6月	泉佐野市	2	—	3	5.2
12	H18	6月	泉佐野市	7	—	4	5.2
13	H18	6月	茨木市	2	—	5	8.0
14	H18	6月	河内長野市	1	—	4	6.6
15	H18	7月	河内長野市	2	—	4	5.0
16	H18	7月	富田林市	1	—	4	6.2
17	H18	7月	泉佐野市	3	無	3	7.4
18	H18	7月	泉佐野市	1	—	4	5.8
19	H18	8月	河南町	2	—	5	5.6
20	H18	8月	河南町	5	—	4	5.4
21	H18	8月	河内長野市	1	—	3	5.6
22	H18	8月	河内長野市	1	—	4	6.4
23	H18	8月	河内長野市	1	—	6	4.8
24	H18	8月	河内長野市	2	—	1	7.0
25	H18	9月	泉佐野市	3	—	5	9.8
26	H18	9月	泉佐野市	4	—	6	5.6

【H18.4~9記録で試算】  
〈1才のみ〉  
妊娠率 = 妊娠個体数 ÷ 調査個体数 × 100  
= 14 ÷ 14 × 100  
= 100%  
平均産仔数 = 産仔数合計 ÷ 妊娠個体数  
= 50 ÷ 14  
= 3.5頭  
〈2才以上〉  
妊娠率 = 妊娠個体数 ÷ 調査個体数 × 100  
= 12 ÷ 12 × 100  
= 100%  
平均産仔数 = 産仔数合計 ÷ 妊娠個体数  
= 41 ÷ 12  
= 3.4頭

【合計】  
妊娠率 = 妊娠個体数 ÷ 調査個体数 × 100  
= 38 ÷ 39 × 100  
= 97%  
平均産仔数 = 産仔数合計 ÷ 妊娠個体数  
= 132 ÷ 38  
= 3.5頭

## ODNA 調査結果

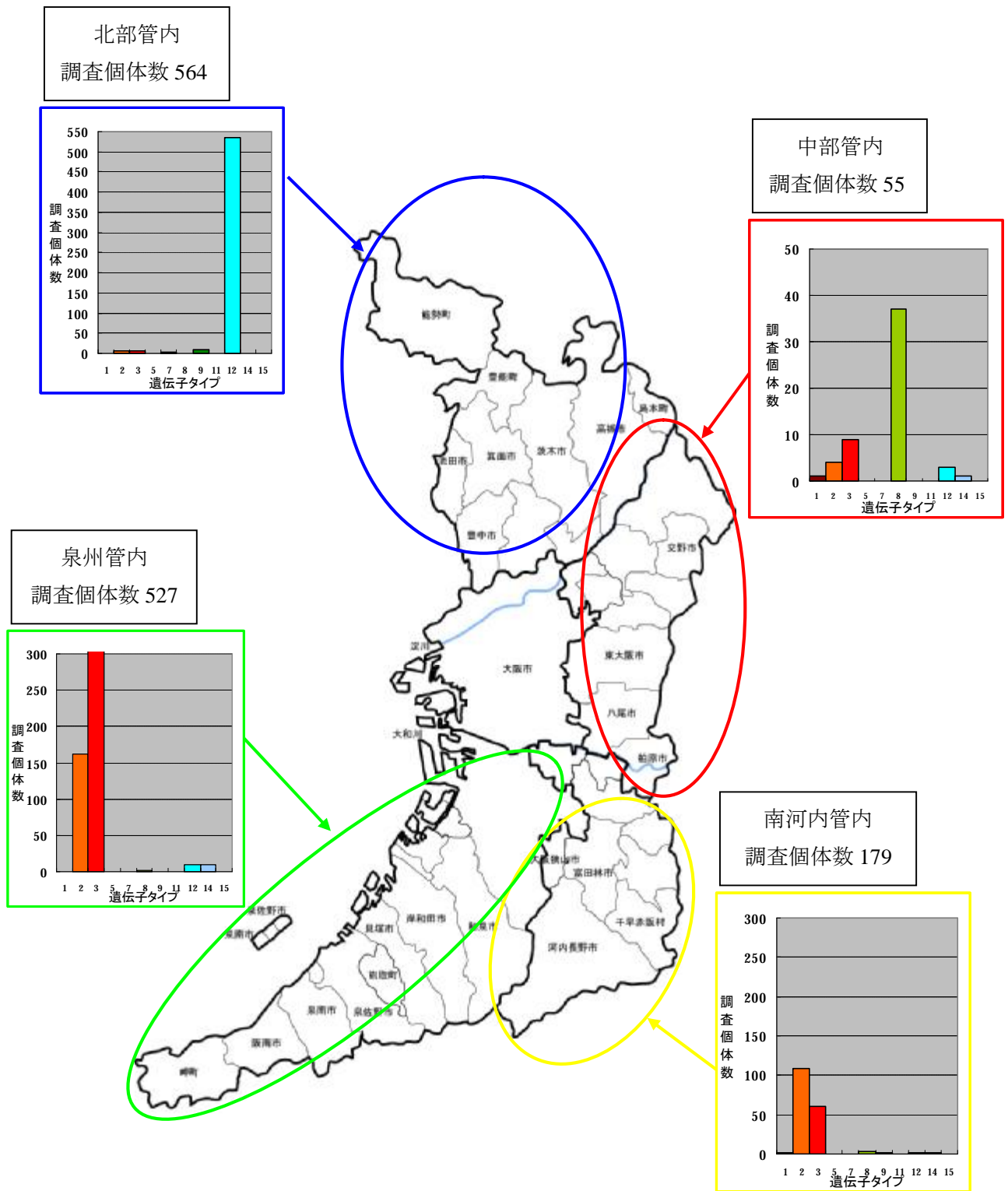
DNA 調査は個体から採取した体毛、筋肉、血痕から抽出したミトコンドリア DNA を分析し、その個体の母系の遺伝子タイプを分類するものである。これにより遺伝子型集団毎の分布状況や繁殖状況が明らかとなり、移入経路を推測したり各集団の分布拡大状況を把握して対策をとることができる。

全国 12 道府県で平成 12 年から平成 21 年度にかけて捕獲されたアライグマから 20 種類の遺伝子タイプが観察され、その分布には地域毎に特徴が見られた（表 8）。

この内、大阪府においては、平成 17 年 1 月から平成 21 年 7 月までの捕獲個体 1325 頭について調査した結果、11 種類の遺伝子タイプが観察された。府内では「タイプ 12」が 549 頭で最も多く、これは北部管内を中心に大きな遺伝子型集団を形成しており、全国的に見て大阪府に特徴的なタイプである。「タイプ 12」は大阪府に隣接する京都府・兵庫県においても観察されており、北摂地域で分布を広げていると推測される。府内で次に多いのが「タイプ 3」で 422 頭、「タイプ 2」が 281 頭であり、これらは南河内管内及び泉州管内を中心に広く観察されている。「タイプ 2」は兵庫県、奈良県においても観察され、「タイプ 3」は和歌山県、兵庫県、奈良県においても観察されている。

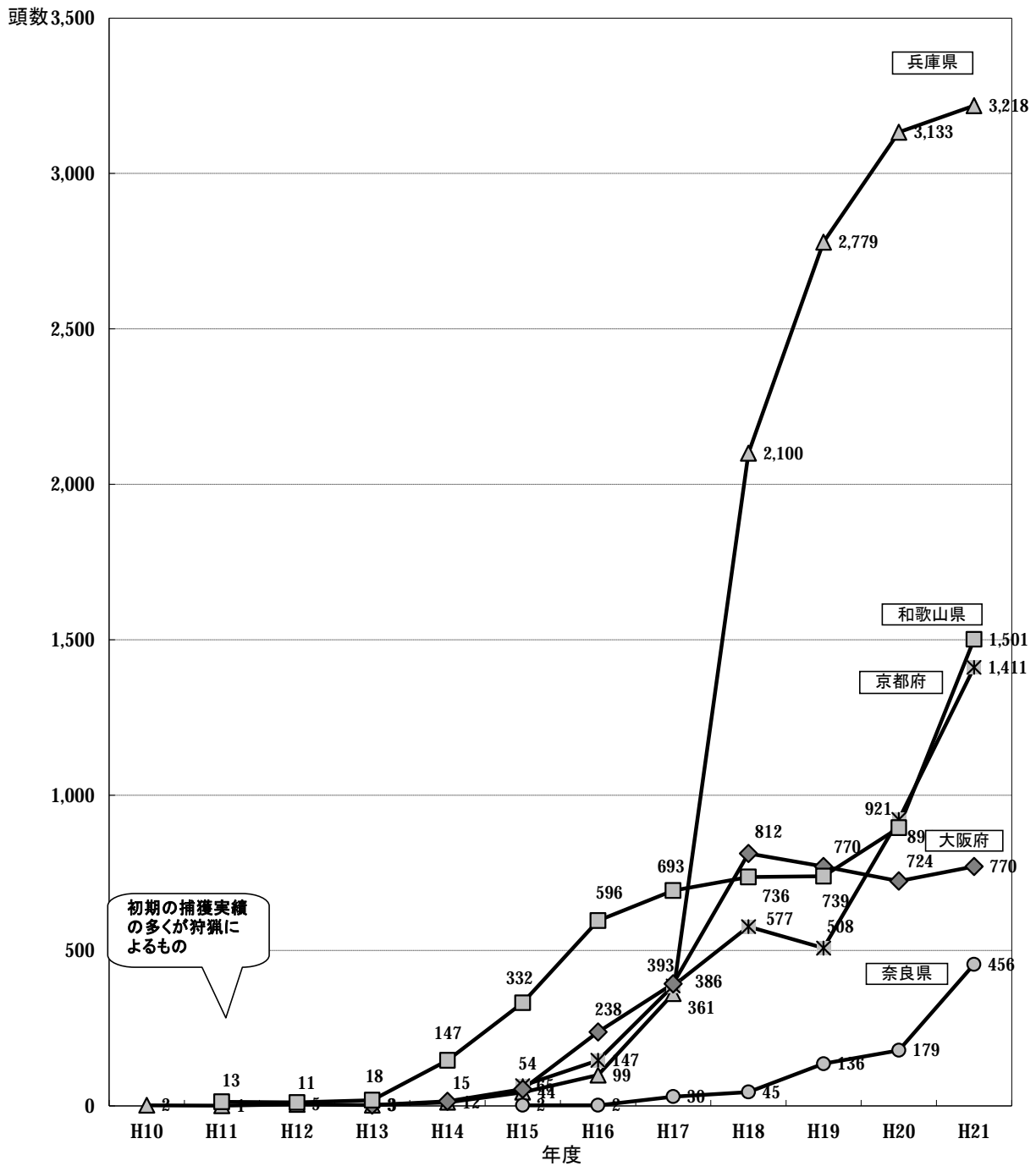
日本各地におけるアライグマの遺伝子タイプの分布（資-表 5）

都道府県	DNA型																		合計		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		16+17	7+18
北海道	0	225	587	199	253	112	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1381
長野県	0	28	0	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
東京都	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
神奈川県	561	14	10	16	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614
千葉県	3	0	6	0	2	0	0	8	0	80	0	0	0	0	0	126	0	0	10	0	235
群馬県	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
福井県	0	11	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	24
三重県	0	0	0	0	0	0	1	0	22	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	24
大阪府	3	281	422	0	1	0	4	43	9	0	0	549	0	12	1	0	0	0	0	0	1325
京都府	0	0	2	0	0	0	85	1	122	0	0	340	0	0	4	0	0	0	0	0	554
兵庫県	0	37	55	0	0	0	4	0	0	0	0	27	0	0	30	0	0	0	0	0	153
奈良県	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
和歌山県	0	86	305	0	0	0	1381	0	9	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1784
鳥取県	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
佐賀県	0	0	0	0	26	0	0	2	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	40
長崎県	0	5	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16
合計	568	689	1391	215	302	116	1493	67	167	80	2	918	13	12	35	126	0	0	10	7	6211



大阪府におけるアライグマの遺伝子分布（平成 16 年～平成 21 年 7 月末） 資-図 2

○近隣府県の状況（資-図3）

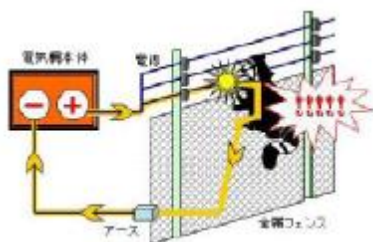
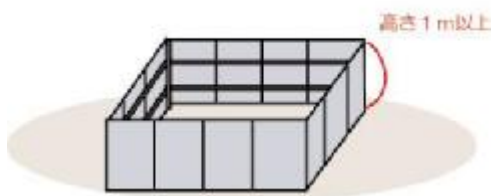
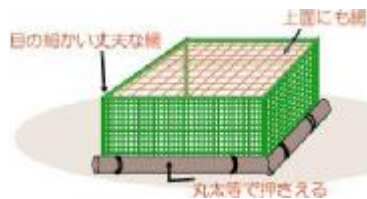


	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
兵庫県	2	1	5	3	12	44	99	361	2,100	2,779	3,133	3,218	11,757
和歌山県		13	11	18	147	332	596	693	736	739	895	1,501	5,681
大阪府				3	15	54	238	393	812	770	724	770	3,779
京都府						65	147	386	577	508	921	1,411	4,015
奈良県						2	2	30	45	136	179	456	850

## ○被害防止対策

### ●農業被害対策

アライグマはトウモロコシやスイカ等甘みのある作物を好み、主にその収穫期に食害します。収穫時期の少し前から収穫が終わるまでの短期間の対策で防ぐことができるのが、アライグマ被害の特徴です。



#### a. 電気柵

最も効果的な方法。架線を地面から約10cm間隔で3～4本張る。架線が草などに接触していると放電してしまうので、設置前及び設置期間中の草刈りが必要です。

#### b. 網囲い

アライグマは網をくぐる、登る、噛み切ることもできる（細い網の場合）ので、目の細かい丈夫な網で周囲および上面を囲い、網のすそは重さのあるものでしっかり押さえます。

#### c. トタン囲い

トタンを使用する場合は、アライグマが立ち上がっても手が届かないよう、囲いの高さを1m以上にします。市販のトタンは約90cm巾なので、1m以上の長さに切って、横につなぐ等、工夫する必要があります。

また、地面を掘り返しトタンをくぐって侵入するので、30cmほど埋め込むとより効果があります。

#### d. 電気柵+メッシュ柵

アライグマのよじ登る能力の高さを利用し、あわせて他の野生動物（イノシシなど）の侵入を防ぐため、下部をワイヤーメッシュもしくは金網とし、上部を電気柵とした複合柵も効果があります。

なお、ワイヤーメッシュの格子の大きさは10cm以下の方が良い（イノシシのみの場合は15cm以下）。

### ●生活環境被害対策



#### a. 屋根裏に侵入されたら

アライグマの侵入口を見つけ、アライグマが屋根裏にいる場合は侵入口から遠い屋根裏の一角で害虫防除剤をたいて追い出した後、侵入口をふさぎます（害虫防除剤を使用する際は、商品の取扱説明書に従って安全な使用に努めて下さい）。

#### b. 池のコイ、金魚等の捕食防止

室内の水そう等に移動させるのが一番安全ですが、無理な場合は目の細かい金網等で池を被います。被いは外されないよう、しっかり固定して下さい。

### ◎餌付けは絶対にやめましょう

くず野菜や生ゴミ、ペットの餌の食べ残し等を放置することは、餌付けと同じです。注意してこれらを無くしましょう。

捕獲器標識 (例)

防除の確認申請 年月日	平成23年 3月〇〇日
特定外来生物の種類	アライグマ ( <i>Procyon lotor</i> ) カニクイアライグマ ( <i>Procyon cancrivorus</i> )
防除の期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日 まで
主務大臣の 防除についての確認	平成23年3月〇〇日付け ◇◇近生第◇◇号(産)、環近地野許第△△△△号
設置目的	生態系への影響、農林水産業への被害、 生活環境汚染等の防止のため
捕獲器番号	〇〇〇番

【問い合わせ先等】

氏 名	〇〇市長 〇〇〇〇
住 所	〇〇市 〇〇町 〇丁目
問合せ先	〇〇市役所 〇〇部 〇〇課 担当〇〇、〇〇
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇